

事務事業名	市制記念式典事業		所属部局	総務部	単位番号	3005				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	総務人事課	課長名	石原 康雄				
			所属担当	総務選挙担当	担当者名	花輪 俊明				
基本政策	基本計画体系	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 12	細目 060	細々目 02
政策		01 行財政改革の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策		02 行政改革の推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	南アルプス市表彰条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 平成14年10月17日の旧6町村合併調印の日を記念して、毎年10月17日以降の最初の日曜日を基本に市制施行記念式典を実施してきた。式典には、知事をはじめ、選挙区選出国議員、市選出県議会議員、近隣市長や市内の役職者、市幹部職員など約500名を招待する。記念式典の中では、特別功労者、功績者として、市制発展に寄与した人を表彰条例に基づき表彰する。また、市民憲章や市の歌の制定などの発表を行ってきた。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報酬 14 報償費 52 需用費 248 役員費 34 使用料及び賃借料 109 計 457						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	平常時の式典とするが、更に、招待者の見直しを行い実施予定。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	平常時の式典とするが、更に、招待者の見直しを行い実施予定。			ア 開催回数	回
					イ	
					ウ	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		・招待者 ・被表彰者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 招待者	人
					イ 被表彰者	人
					ウ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		・市制誕生を記念するとともに被表彰者を祝福する。 ・市政に功績のあった人を表彰する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 招待者の内当日参加者数	人
					イ 被表彰者の当日出席者	人
					ウ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		市民の一体感の醸成	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 市民の一体感を感じた人の割合	%
					イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	434	1,046	457	938	709	709	
		事業費計(A)	千円	434	1,046	457	938	709	709	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	167	167	167	167	167	167	
		人件費計(B)	千円	760	760	760	760	760	760	0
		(A)+(B)	千円	1,194	1,806	1,217	1,698	1,469	1,469	0
	活動指標	ア	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		イ								
		ウ								
	対象指標	ア	人	453.0	550.0	500.0	500.0	500.0	500.0	
		イ	人	10.0	14.0	14.0	15.0	15.0	15.0	
		ウ								
	成果指標	ア	人	390.0	400.0	346.0	500.0	500.0	500.0	
		イ	人	8.0	15.0	11.0	15.0	15.0	15.0	
		ウ								
	上位成果指標	ア	%							
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成14年10月17日の旧6町村合併調印の日を記念して、毎年10月17日以降の最初の日曜日を基本に桃源文化会館において市制施行記念式典を行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	功績者の表彰については変化は無いが、アドラクション等において地元中学・高校生の吹奏楽部の演奏を行うなど、発表の場を設けるとともに経費節減に繋げてきた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	式典経費の削減のため、隔年、5年に一度等の開催を検討することになっていた。しかし、式典の中で功績者表彰を行うが、役職を退いた年に合わせて表彰するべきとのことで、引き続き毎年開催している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	式典の簡素化や隔年開催等の検討を行った。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	知事を始めとして、地元国会議員、県議会議員、近隣市町村長、市内各行政委員等を招待しているが、次年度からは、招待者を縮小し、もっと簡素化を図っていく方向で検討することとした。

事務事業名	市制記念式典事業	所属部	総務部	所属課	総務人事課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 現状では、式典の参加者が各行政職までに留まっているので、もう少し市民参加型に変えていくことにより、市民の意識の向上を図り市政の活性化に繋げる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の誕生日であり式典の開催は妥当である。 市政の発展等に寄与した方々を功績者として表彰するものであるため、自治体が表彰すべきであり妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市の誕生日であり式典の開催は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 招待者等の縮小を図る一方、市民参加型への移行の検討余地あり。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 公式な場所で表彰することにより、市民の励みに繋げて市制の活性化を図る。 功労者表彰を行うため、休廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費の削減を図りながら開催してきた。現状は、必要最小限で実施しているので削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 担当で諸準備を行ったり、職員の協力を得ての実施のため、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 式典の出席者については、座席数に限りがあるので、行政職の方々までの参加としている。表彰については、全市民が対象の中で、特に功績のあった者を、表彰審査会に図り決定している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度は、市制施行10周年を迎え節目の式典であったので、県内市町からも数多く参加していただいた。また、姉妹都市からも参加していただき、盛大に開催することができた。 将来的な方向性としては、招待者の検討と市民参加型への転換の検討が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					